

平成29年度 第1回 川崎市小学校教育課程研究会 報告書 **北部**

分科会名	会 場 川崎市立上作延小学校
特別活動	助言者 川崎市立小学校特別活動研究会副会長 川崎市立稗原小学校 校長 中村 邦彦
	川崎市総合教育センター 高橋 徹 指導主事
平成29年6月7日(水)	授業者 川崎市立上作延小学校 青木 奈美 押川 優香 青木 洋俊
	司会者 川崎市立宮崎台小学校 西村 美穂子
	記録者 川崎市立宮前平小学校 中村 浩太郎
	世話人 川崎市教職員組合 渡部 和正
1 提案の概要	出席者数 120名

●学級活動(1) 学級会

議題	学級・授業者	学級目標	決定事項
2年4くみ なかよし集会をしよう	2年4組 青木 奈美	おもいやりがあってやさしい おもしろくてたのしい げんきにかがやくえがお けじめがあるクラス	●(柱1) 何をするか・・・ ・ばくだんゲーム大会
雨の日わくわく集会をしよう	3年3組 押川 優香	きりかえ上手 あいさつができる いっぱい助け合うクラス	●(柱1) 何をするか・・・ ・ばくだんゲーム ●(柱2) みんなが楽しめる遊びの工夫・・・ ・ばくだんをふやす ・ばくだんとプレゼントをまわす。 ・音楽はCDではなく誰かが歌う。
5年1組 笑顔のクラス運動会をしよう	5年1組 青木 洋俊	協力!努力!行動力! 心をひとつに みんなが笑顔	●(柱1) 何にするか・・・ ・障害物競走(綱引き・マラソンの要素を含む)

2 研究協議の概要

学級	授業者 自評	主な協議内容
●2年4組	今回の学級会では、1つの集団決定があつて良かった。	意見を集める・比べる・まとめる、のところに時間をもっていくかを教師がイメージをもっておくとよい。
●3年3組	2回目の学級会だったが、今回は「工夫」に重きをおいた。遊びの工夫を出す中で質問がたくさん出たが、それをしっかり聞こうとして良かった。	教師のねらいが、明確であった。柱2の話し合いに時間を使う流れができていた。子どもたちの学級会ノートに書いてある第1回学級会の振り返りが話し合いに活かされていた。
●5年1組	できる限り、少数派の意見もいかされるように進められていた。司会の事前が成果として表れた。	子どもたちの、素直な姿が見られた。世の中では決まらない現実も、多々あるが、他教科ではできない経験である。物事に折り合いをつけるバランスの経験し、今後に活かせる希望をもてたのではないかな。

3 今後の課題

●キャリア・在り方・生き方教育の視点が盛り込まれた指導案が作成されていた。学級会の意義をしっかりと指導し、可能な限り皆の意見を尊重しようという取り組みを浸透させていく。また、学級会・集会における「育てたい力」を教師が明確にする。経験の積み重ねが生きるの、振り返りをして事前指導をするなど、事前・事後の活動が大変重要である。

